

令和7年度 飛騨地区小学校国語科研究協議会 低学年

生きてはたらく言語能力を高める

国語科学習

～楽しくて、力がつく言語活動の工夫～

授業者：青木 天平

発表者：青木 麻由美

下呂市国語部会

◆テーマ設定の理由

～下呂市令和5年度までの歩みより～

- ①児童にとって学ぶ必然性がある言語活動の設定
- ②単元・単位時間の導入でのモデル提示



児童の主体的な学びにつながった



今後はさらに…

児童が自分の考えを広げたり深めたりしながら、適切に表現できる力をつけたい。

◆仮説

単元で「付けたい力」を明確にし、魅力的な言語活動を位置付け、主体的・対話的な学びを生み出す学習過程や学習活動、学習環境を工夫すれば、言葉による見方・考え方を働かせ、自分の思いや考えを適切に表現できる子が育つであろう。

◆研究内容

(1) 単元について

- ①児童にとって学習の目的となる魅力的な言語活動の設定
- ②単元を通して、児童に付けたい力を意識した単元構成の工夫

(2) 単位時間の学習過程について

①付きたい力に迫るための言語活動の有効な指導方法、指導・援助の工夫

②児童が、自己の高まりを自覚できたり、言語の主体的な使い手として自信をつけたりする出口の工夫

◆研究実践（2年）

単元名：せつめいのしかたに気をつけて読み、
それをいかして書こう

教材名：「紙コップ花火の作り方」
「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

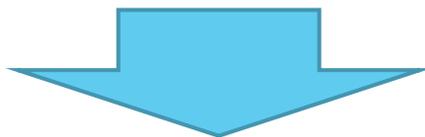
授業者：下呂市立宮田小学校
青木 天平

◆児童の実態

○仲間との学び合いを大切にしている。

○課題に意欲的な児童が多い。

△叙述を基にして自分の考えを話したり、
文章を書いたりすることに苦手意識がある。



- 「何」を「どのように」書けばよいのか分からない。
- たくさんの文章を書くことに抵抗がある。

◆研究内容（1）

①児童にとって学習の目的となる魅力的な言語活動の設定

【生活科「うごく うごく わたしの おもちゃ」と関わらせて】

自分たちがつくった
おもちゃであそんで
楽しかったな！

1年生も、おもちゃが
作れたらよろこぶだろ
うな。

よし、1年生に分かり
やすいおもちゃの作り
方のせつめい書をプレ
ゼントしよう！



②単元を通して、児童に付けたい力を意識した単元構成の工夫

【本単元で特に付けたい力】

- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 指導事項C(1)ア
- ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 指導事項B(1)イ



【児童にとっての目指す姿】

おもちゃの作り方の説明書が
1年生に分かりやすく書けるようになりたい！

【単元構成の工夫】

単元導入

…**試しに説明書を書いてみる。**

どうやって書いたらいいのかな？

がんばって書いてみたよ。でも、なんか分かりにくいなあ。

どうしたら、分かりやすく書けるかな？
よし、「紙コップ花火の作り方」のせつめい文を読んで、うまく書く「わざ」を見つけるぞ！

単元展開

…「せつめい書のわざ」に気付き、自分の説明書を書く時に取り入れて書く。

せつめい書が「試し書き」より分かりやすく書けた！
これからも、「せつめい書のわざ」を使っていこう！

単元終末

…「試し書き」の頃と比べて、自分の成長に気づく。

◆研究内容（2）

①付きたい力に迫るための言語活動の有効な指導方法、指導・援助の工夫

ア 個別最適な学習に向けた学習環境の設定

「写真・動画」コーナー



前の活動へ立ち返られる

自分の段階が分かる

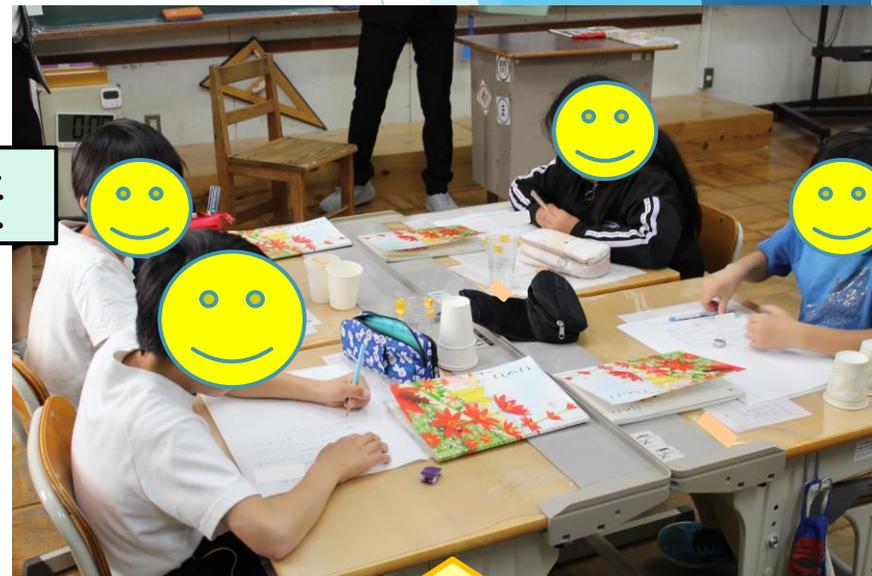
「せつめい書のわざ」一覧表

		ざいりょうどうぐ	前おき	組み立て
⑨	数字をつかって、長さを書く。 ※センチメートル			
⑧	むきやおり方などをきちんと書く。 ※よこむき・山（谷）おり・太い（細い）ほうなど			
⑦	はじめにどのぶぶんを作るのか書く。			
⑥	※「まず」「つぎに」「それから」「さいごに」「じゅんばんことはをつかう。 ↓つぎの行へいく。」			
⑤	いくついるのか、どのくらいの大きさなのか書く。			
④	ざいりょうだけではなく、つかうどうぐを書く。			
③	これから何を作るのかについて書く。			
②	見出しをつける。			
①	〈はじめのぶぶん（前おき）〉〈ざいりょうどうぐ〉〈作り方〉〈楽しみ方〉のじゅんに書く。			みんなで見つけた「せつめい書のわざ」

「せつめい書のわざ」チェックリスト

二年

意図的なグループ隊形



協働的な学びを生み出す

◆研究内容（2）

①付きたい力に迫るための言語活動の有効な指導方法、指導・援助の工夫

イ 一単位時間の指導事項の焦点化

7時間目（全13時間）

毛糸のはしを、まつぼつにま
ないように、きつくむすびます。
しを、ガムテープで、紙コップの
をはさむようにして、もう一つの
コップのそこにつけます。
コップをのせます。
まず、毛糸のはしを、まつぼつ
で、とれないように、きつくむす
つぎに、毛糸のはんたいがわの
コップのそこにつけます。

よい例と悪い例の
モデル文の提示

「じゅんばんことば」
を使って、おもちゃの
作り方を書こう

③
②
まず、カッポを下むきにおいて下
むきにおいたからかきこんでつらつらの
ところにかきこんであなをあけます。下
きるところががりのごきをつけましょ
つぎに、まず、つぎをお、おむすおしたは
につまむついでとめます。とめたと
ころにテープでとめます。したと
それから、あむむとあしたとこ
ろにおもりをテープでくっつけます。

◆研究内容（2）

②児童が、自己の高まりを自覚できたり、言語の主體的な使い手として自信をつけたりする出口の工夫

「説明書のわざ」 チェックリストの活用

教科書の例文では、いくつかの「わざ」が使っているかな？

自分の「ためし書き」ではどうだったかな？

完成した説明書はどうだったかな？

楽しみ方	作り方											ざいりょうとどうぐ		前おき	組み立て			
	⑰	⑯	⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②		①
おもちゃのあそび方を書く。																		みんなで見つけた「せつめい書のわざ」
さいごに「できあがりです。」を書く。																		〈はじめのぶぶん(前おき)〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈楽しみ方〉のじゆんに書く。
しゃしん〇のような……にしましょう。																		見だしをつける。
絵やしやしんにもことばや数字を入れる。																		これから何を作るのかについて書く。
※①②など																		ざいりょうとどうぐ
※〇〇すると、▽▽ので、気をつけましょう。																		前おき
※たくさんの色をつかうと、きれいな花火になります。																		組み立て
アドバイスも書く。																		
数字をつかって、長さを書く。 ※センチメートル																		
※よこむき・山(谷)おり・太い(細い)ほうなど																		
はじめにどこのぶぶんを作るのか書く。																		
※「まず」「つぎに」「それから」「さいごに」																		
じゆんばんことはをつかう。 ↓つぎの行へいく。																		
いくついるのか、どのくらいの高さなのか書く。																		
いくついるのか、どのくらいの高さなのか書く。																		
みんなで見つけた「せつめい書のわざ」																		けん玉
自分の「ためし書き」ではどうだったかな？																		ためし書き
完成した説明書はどうだったかな？																		かんせい

わざを見つけたら(つかえたら)、「〇」をつけよう。

「せつめい書のわざ」チェックリスト

二年

②児童が、自己の高まりを自覚できたり、言語の主體的な使い手として自信をつけたりする出口の工夫

「単元学習シート」の活用

7	・「じゅんばんことば」をつかって、1年生にも分かりやすい「作り方」を書く。	<u>じゅんばんことばをつかえてうれしかったです。</u>
8	・「せつめい書のわざ」をつかって、「作り方」を書く。	<u>チェックリストの丸がまよりましたのでうれしかったです。</u>
9	・自分がえらんだおもちゃのせつめい書をしあげる①	<u>せつめい書が1年生につたわるせつめい書ができてうれしかったです。</u>
10	・自分がえらんだおもちゃのせつめい書をしあげる②	<u>せつめい書にしんをほってかんせいしたのでうれしかったです。</u>

11	・ちがうおもちゃのなかまのせつめい書を読み、おもちゃを作る。	<u>ちがうおもちゃのなかまのせつめい書でもおもちゃがばうずにつくれてうれしかったです。</u>
12	・なかまからのかんそうやアドバイスをもとに、自分のせつめい書を見直す。	<u>なかまからかんそうやアドバイスをもらって丸が1つふえてうれしかったです。</u>
13	・かんせいしたせつめい書とためし書きを読みくらべて、かんそうをつたえ合い、学しゅうをふりかえる。	<u>ためし書きとかんせいしたせつめい書がちがったのでかんせいがばうずになってうれしかったです。</u>
		<p><学しゅうしてできたこと、分かったこと、これからもやっていきたいこと></p> <p>せつめい書を書いてまだ分かったことは、せつめい書のわざをつかうと、わかつたせつめい書になることです。つぎにこれからやっていきたいことは、じゅんばんことばをほかの文しょうにもかきたいです。</p>

チェックリストの「○」が増えてうれしい

「じゅんばんことば」を他の文章でも使っていきたい

◆成果

- 相手意識・目的意識を明確にした魅力ある単元目標の設定や学習過程の工夫により、目的意識をもって学び続けたり、達成感を味わったりすることができた。
- 学習環境を充実させることで、自己調整しながら集中して学び続ける姿を生み出せた。
- 個人の「単元学習シート」や「せつめい書のわざ」チェックリストがあることで、児童一人一人が、付けたい力を常に意識して学んだり、学びの変容を自覚したりすることができた。

◆課題

- 「書く」言語活動は、時間がかかりやすい。限りある学習時間の中で終わられるように、指導事項の精選や学習活動、指導・支援の仕方を工夫する必要がある。
- 「単元学習シート」の振り返りの記述の仕方の指導で、次に頑張りたいことまで書かせることで、さらに見通しをもって自ら学びを進められるようにしたい。

ご清聴ありがとうございました